

5/11 車いすの人も記入しやすいように 鶴田ロータリークラブ 記載台寄贈

鶴田ロータリークラブ（伊藤昇会長）が、車いすで来庁された方のために高さを調節できる記載台を町に寄贈しました。

同クラブは車いすの寄贈を昨年行っており、車いすを利用される方の利便性向上のため、今回は記載台の寄贈となりました。

付属の用紙置きや時計は取り外しが可能になっており、選挙期日前投票用記載台としても活用できるものになっています。



▲鶴田ロータリークラブの皆様



▲実際に配置した記載台



彼岸花の球根を植える参加者たち

5/13 さつまとつるたを繋ぐ彼岸花 白衣観音堂周辺 彼岸花の植栽

富士見湖パーク内の白衣観音堂・階段周辺にて彼岸花植栽有志会が花の植栽を行いました。

植栽に使う彼岸花の球根と培養土はさつま町から併せて200kgほど届けられました。

植栽は今回で9回目となり、参加者約80名の方々が穴掘り班と花植え班で分かれて行いました。穴掘り班が植える用の穴をスコップで掘り起こし、すぐさま花植え班が慣れた手つきで穴に球根を5、6個入れ、培養土で埋めていました。

彼岸花は9月中旬～下旬が見頃となっています。

5/18 利用しやすい・きれいなプールへ B&G 海洋センター修繕助成決定書授与式

町では、B&G 財団より、鶴田町 B&G 海洋センタープールの修繕費用の一部として助成を受け、改修工事を行うことになりました。

授与式には朝日田智昭常務理事が来庁し、「これからも鶴田町 B&G 海洋センターが地域住民の健康と笑顔が育まれる拠点として愛され続けることを願う」と話されました。

助成金は2,990万円で、電気設備の整備やプール屋根の塗装・補強材の取替などを行い、令和9年度再開予定です。



朝日田常務理事（左）から相川町長へ決定通知書が渡されました

地域おこし 協力隊通信 Vol.108(筆：帯川 匠)

みなさんこんにちは。任されている畑に霜が降りた地域おこし協力隊のオビカワです。

話には聞いていましたがいざ霜に当てられると、新芽が使い物にならないのです。天候には勝てないですが、天に向かって思いっきり石をぶん投げたくなった今日この頃です。

先日、富士見湖パークで～北限の彼岸花群生地を目指して球根植栽～に参加してきました。長きにわたり続いていたプロジェクトということもあり、ボランティアの参加人数も80人を超えており、そしてなんと今回は特別ゲストで宮下知事がいらっしゃいました！

目の前にテレビで見える人がいると緊張しますね。

知事に“縮こまる”私と、私を見て“知事困る”写真

これ以上変なことを言うと、また霜が降りそうなので今回はここまでしておきます。



宮下宗一郎青森県知事と共に花の植栽をした帯川さん

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。



相川町長に受章の報告をした成田さん（左）

5/19 長年の功績が認められ瑞宝単光章を受章 第46回危険業務従事者叙勲

第46回危険業務従事者叙勲において、胡桃館在住の成田英己さん（元五所川原地区消防事務組合消防司令）が、消防功労による瑞宝単光章を受章されました。

危険業務従事者叙勲は、警察官、消防吏員、自衛官など著しく危険性の高い業務に長年精励し、国家または公共への功労が認められた方に贈られるものです。

成田さんは、昭和46年に消防士として採用され、鶴田消防署隊長などを歴任。地域の安全を守る消防業務に尽力されました。その長年にわたる多大な功績が認められ、今回の受章となりました。

5/21 お客さんをきれいなお花でお出迎え♪ 富士見湖パーク 花の植栽

富士見湖パークを訪れた人に楽しんでもらうため、パーク内の円形花壇で花の植栽が行われました。

町では毎年この時期、花壇に約1万本のペゴニアの花を植える活動を行っています。この日は町内の保育園の子どもたちや下山学園高等学校の生徒、観光ガイドなど約160人が参加。NOGI こども園の園児たちが「きれいな花で訪れた人を元気にします」と植栽宣言を行い、参加者たちは白や赤の鮮やかなペゴニアを一つ一つ丁寧に植えていました。



花の植栽後につるりと写真を撮る子どもたち



相川町長に成績を報告した下山学園高等学校の生徒たち

5/27 春季大会で健闘 高校生が表敬訪問 下山学園高等学校 表敬訪問

春季東北大会出場を決めた野球部・陸上競技部の代表選手のほか、上位の成績を収めた生徒達が相川町長に大会の結果報告を行いました。

生徒達は「自己ベストを出して上位を目指したい」「インターハイに行ったら勝ちたい」と抱負を述べました。

抱負を聞いた相川町長は、「着実に成長し、良い結果を残しているのは認識しており、インターハイ・甲子園を目指して頑張ってもらいたい」と力強いエールを送りました。

鶴田町・フッドリバー市 姉妹都市50周年フォトコーナー



姉妹都市締結50周年を祝う第38回中学生大使

Hood River News

6月は、フッドリバーの多くの住民にとってワクワクする時期です。夏休みが始まるだけでなく、サクランボ祭りも旬を迎えます。フッドリバーは、ジューシーで甘いサクランボで有名です。

さて、話題は変わりますが、先日のフッドリバー市民と親しくする会懇親会では、今年3月にフッドリバーを訪問した生徒の皆さんによる体験発表が行われました。現地での交流やホームステイでの思い出など、それぞれの心に残った出来事が紹介されました。生徒の皆さんの発表から、充実した訪問であったことが伝わってきました。今後の学校生活でも、この経験をぜひ活かして頑張ってください！